

子どもに学びがいを 教師に教えがいを 学校に元気を

～一人ひとりを大切にする 地域とともに歩む～

令和5年度も引き続き、本校の校長を務めます 細山 貴信（ほそやま たかのぶ）と申します。今年度で3年目を迎えます。歴代の校長先生、教職員が地域の方々と力を合わせ築き上げた歴史と伝統のある長門小学校を受け継ぎ、「一人ひとりを大切にする」「地域と共に歩む」学校を目指し、教職員一同、力を合わせ、教育活動に邁進してまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

感謝と責任の重さ

長門小学校に足を踏み入れて、まず、思ったことは「何て素敵な学校だろう！」です。

きれいに整備され、しっかりと維持・管理されている木々や草花の中に歴代の卒業生から寄贈された記念品がいたるところにたたずむ校庭。この佇まいから在校生や教職員はもちろんのこと、卒業生の皆様、地域の方々から長門小学校が大切にされてきた歴史が伝わってきました。そして、長門小の子どもたちがとても優しく、素直であることに感銘しております。これは、日々、保護者の方の愛情、地域の温かな眼差しがたっぷりに注がれて育ってきている証です。夢にまで見たこんな素敵な学校。だからこそ、校長としての責任の重さを感じております。

令和5年度は、開校60周年記念 ～長門小の良さや価値を再発見する！～

ようやく新型コロナウイルス感染の広がりも収束の兆しが見え、今年度は、学校行事や地域行事について、少しずつ、従来の姿を取り戻しつつあります。私達は、単にコロナ前の姿に教育活動を戻すという発想ではなく、コロナ禍で学んだ教訓を生かし、子どもたちが生き生きと学び、より教育効果の高い教育活動を展開してまいりたいと考えています。今年度、本校は、お陰様で開校60周年を迎えます。これまで、多くの地域の皆様の温かいご支援のもと60年という歴史を刻んできました。始業式に合わせ、屋上に「祝60周年記念」という看板を設置しました。今年度スタートにあたり、60年という節目の年に立ち会える喜びを子どもたちと共有しました。今年度は、年間を通じて、60年かけて受け継がれてきた長門小学校の「歴史」や「伝統」を温め、長門小の良さや価値を子どもたちと共に再発見するような教育活動も展開してまいりたいと考えております。

学びたい学校 通わせたい学校をめざす！

学校は、単に、「教師が授業を行い、子どもたちが学ぶ」という場だけではありません。生活リズムを整え、体力を向上させる。友達や異年齢の子ども同士とのつながり、出来事や物事とのかかわりながら社会性を学ぶ等、様々な「学び」や「成長」を促す場所でもあります。子どもたちが活躍する将来を見据え、「子どもたちの学びを止めない！」「子ども一人ひとりを未来の創り手として育てる」使命を全教職員で再確認しております。

毎日、子どもたちが達成感や充実感を味わい「長門小に通ってよかった。」保護者の方々には、「長門小学校に通わせてよかった。」と、思っただけのよう、教職員一丸となって取り組むこととお約束します。

どうぞ、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力、そして、温かいご支援をお願い申し上げます。



令和5年4月10日

足立区立長門小学校 校長 細山 貴信